

水路新技術講演会 プログラム

日 時:平成 26 年 3 月 10 日 (月)

13 時 15 分~17 時 45 分

会 場:海上保安庁海洋情報部 国際会議室 10 階

住 所:東京都江東区青梅2丁目5番18号

主 催:海上保安庁海洋情報部

共 催:一般財団法人 日本水路協会

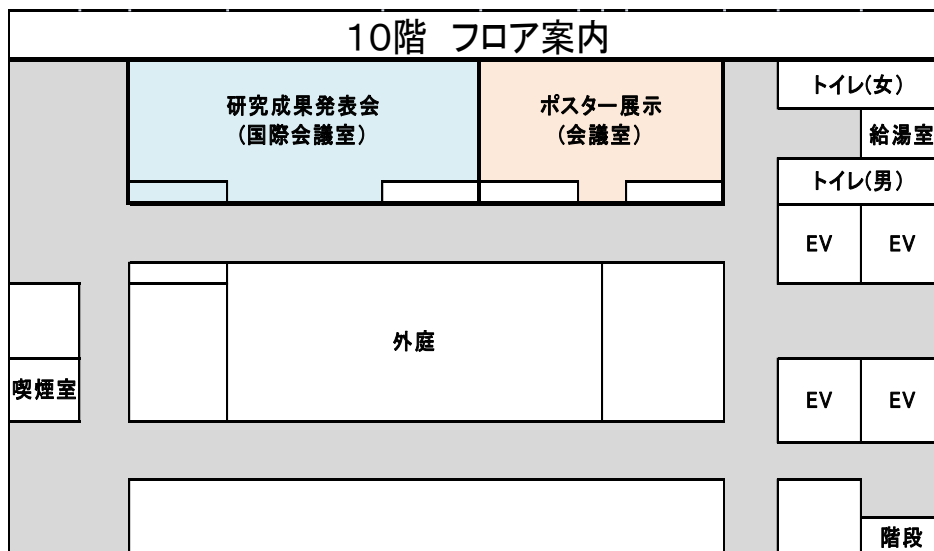


◆交通手段◆

新交通ゆりかもめ「**テレコムセンター**」駅下車、徒歩5分

入場料は無料です。

国際会議室 10階



発表 【13:15~17:15】

開会挨拶

13:15~13:20 海上保安庁 海洋情報部長 谷 伸

セッション1: 地震と津波

基調講演

(1) 13:20~14:10 「東北地方太平洋沖地震に学び、南海トラフ巨大地震に備える」
東京大学地震研究所 教授 古村 孝志

14:10~14:20 (10分間休憩)

口頭発表

- (2) 14:20~14:40 「海洋情報部が実施する地震・津波防災対策」
海上保安庁海洋情報部 海洋調査課 岩渕 洋
- (3) 14:40~15:00 「南海トラフにおける東北地方太平洋沖地震前後の海底地殻変動」
海上保安庁海洋情報部 海洋調査課 海洋防災調査室 横田 裕輔
- (4) 15:00~15:20 「領海・EEZ 調査から明らかになった南西諸島海溝における沈み込み構造」
海上保安庁海洋情報部 海洋調査課 及川 光弘

————— 15:20~15:40(休憩およびポスター発表コアタイム) —————

セッション2: 一般テーマ

- (5) 15:40~15:55 「2013 年西之島火山噴火の特徴」
海上保安庁海洋情報部 技術・国際課 火山調査官 伊藤 弘志
- (6) 15:55~16:10 「AUV による第一奄美海丘の調査結果」
海上保安庁海洋情報部 技術・国際課 海洋研究室 栗田 洋和
- (7) 16:10~16:25 **水路技術奨励賞受賞講演**
「AUV(Deep1)の可搬式軽量ランプ型着水揚収装置(LARS)および船上一次処理ソフトウェアの開発」
深田サルベージ建設株式会社 大辻 由希
川崎地質株式会社 杉本 慎吾
- (8) 16:25~16:40 「海洋短波レーダーで観た相模湾の流況特性」
海上保安庁海洋情報部 環境調査課 西村 一星
- (9) 16:40~16:55 **水路技術奨励賞受賞講演**
「海洋レーダーを利用したインバージョンに対するレーダー観測時間の影響
～津波初期水位の推定精度向上にむけて～」
国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部 藤 良太郎
- (10) 16:55~17:10 「連続観測装置が捉えた東京湾の青潮の姿」
海上保安庁海洋情報部 環境調査課 森岡 裕詞

閉会挨拶

17:10~17:15 海上保安庁海洋情報部 技術・国際課長 仙石 新

————— 17:15 閉 会 —————

ポスター展示【13:00~17:45】

- P01 南海トラフ巨大地震を想定した津波防災情報図
海上保安庁海洋情報部 海洋調査課 海洋防災調査室 氏原 直人
- P02 1771年明和地震津波想定波源域付近の地形と地震学的構造
海上保安庁海洋情報部 技術・国際課 海洋研究室 西澤 あずさ ほか
- P03 奄美大島・トカラ列島周辺海域における地質構造
海上保安庁海洋情報部 海洋調査課 大陸棚調査室 及川 光弘 ほか
- P04 地殻構造探査の再解析結果から導かれた小笠原海台沈み込み帯付近の構造
海上保安庁海洋情報部 海洋情報課 金田 謙太郎 ほか
- P05 日本海東縁部海底地形のアナグリフ画像
海上保安庁海洋情報部 海洋調査課 泉 紀明 ほか
- P06 地殻構造探査調査結果を反映した3次元重力モデルによる地殻の厚さの計算
海上保安庁海洋情報部 海洋調査課 大陸棚調査室 藤岡 ゆかり
- P07 2013年西之島火山噴火活動
海上保安庁海洋情報部 海洋調査課 小野 智三
- P08 東北地方太平洋沖地震後の海底地殻変動（～2014年1月）
海上保安庁海洋情報部 海洋調査課 海洋防災調査室 渡邊 俊一 ほか
- P09 GPS精密観測により地殻変動成分を除去した海面高の長期変動
海上保安庁海洋情報部 海洋調査課 海洋防災調査室 大市 一芳
- P10 来島海峡における潮流観測手法
海上保安庁海洋情報部 環境調査課 西村 一星
- P11 国際海底地形名の最近の登録状況
海上保安庁海洋情報部 技術・国際課 海洋研究室 小原 泰彦
- P12 次世代電子海図国際規格への対応
海上保安庁海洋情報部 技術・国際課 海洋研究室 林 和樹 ほか
- P13 海洋台帳の現状について
海上保安庁海洋情報部 海洋情報課 海洋空間情報室 吉川 貴子